

平成 24 年 12 月 15 日

## 作業療法教育ガイドライン（案）

### 一般社団法人 日本作業療法士協会教育部

#### V. 大学院教育カリキュラムへの提言

日本における作業療法教育は、1963 年に開設された国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院から始まった。その後 1979 年に 3 年制の金沢大学医療技術短期大学部、1992 年に広島大学医学部保健学科の作業療法専攻 4 年制学士課程が開設された。2008 年には広島大学に大学院（修士課程）が設置されたのをはじめとして、2010 年現在の大学院（修士課程及び博士課程）在学数は、38 校 392 名となっている（作業療法白書、2010）。

このようにわが国の作業療法士の養成は、現在 3 年制及び 4 年制の専門学校と 3 年制短期大学、4 年制大学計 183 校で養成され、2010 年現在資格取得者数は 53,080 人となっている（作業療法白書、2010）。WFOT に日本が 1972 年に正式加盟し 40 年近くが経過する中、日本の作業療法士数はアメリカに次いで第 2 位、WFOT が認定する養成校数は世界第 1 位となっており（WFOT 白書、2010）、世界を担う国際的に活躍できる作業療法士の養成が求められている。

わが国では、1970 年に高齢化率 7%を超え高齢化社会に入り、以来急速な高齢化の進展で、2012 年遂には過去最高の高齢化率 24.1%に達した（2010 国勢調査、人口動態調査による推計）。18 歳人口は既に 1993 年より減少し始め、少子高齢化は老老介護から認知症同士の夫婦による認知介護と言われる問題をもたらしている（作業療法白書、2010）。このような中、（作業療法士には）医学の知識や技術を基盤に、医療や地域生活の中で、暮らしを構成する作業を通して人やその生活機能を観察し、生活機能の状態に応じて、人的環境や物理的環境、制度・サービスなどの環境を整え活かし、その人の生活経験やできること、したいこと、ニーズを活かし、その人らしく生活できるよう支援するなどの多様性と高度な専門技術が求められている。

WFOT において、多様性を基盤とする作業療法は、専門学校、大学、大学院等の異なるレベルでの作業療法教育がなされている。また、異なる文化を持

つ研究者との国際的協働が、グローバルスタンダードになると言われており、機会の増加を試みている。米国やカナダ等では、大学 4 年間の学部教育では作業療法の質と社会的地位を確保できないとして、すでに大学院修士課程の卒業を国家試験受験資格の要件にしている (CAOT, 2008)。世界 2 位の有資格者を有する日本の作業療法士が、国際的に活躍するためには、米国やカナダの教育システムを念頭においた質の向上を目指す必要性が考えられる。また、地域によって異なるものの、日本の専門学校には少なからず学士取得者の入学があるとも言われている。このことから、カナダや米国の大学院で行われている臨床系大学院教育を日本では専門学校が担っている可能性も考えられる。

また、WFOT は教育者に対しては、修士以上の学位を持ち、将来の発展の機会を先取りしていく能力のある卒業生を育成する事を求めている (WFOT, 2008)。我が国では 2010 年 3 月現在、教員数は 1,239 人、修士以上の学位をもつ教員は 172 名、博士号を取得し論文指導を担当できる教員が 76 名である (作業療法白書, 2010)。入学定員では 7,035 名 (2012 年 4 月) の学生を迎え入れる作業療法養成教育にとって、教育者および臨床教育指導者の資質向上は急務である。

我が国でも、2003 年に社会的・国際的に活躍できる高度専門職業人養成へのニーズの高まりに対応するため、高度専門職業人の養成に目的を特化した専門職大学院の設置が認められ、法科大学院など資格取得のための大学院も開設されている。多様性と高度な専門技術、国際的に活躍できる作業療法士の養成が求められる本養成課程においても、専門職大学院の開設及び、将来的には大学院大学における資格取得の制度の設置が望まれる。

## V. 大学院教育カリキュラムへの提言

わが国の理学療法学教育における大学院教育が開始され今年で 15 年を迎えた。平成 8 年、広島大学に初の修士課程が開設されて以来、その数は飛躍的に増加し現在 35 の大学で大学院教育が行われ、そのうち博士課程を有する大学も 21 校に上っている。

このように量的には拡大してきた大学院教育だが、内容的には必ずしも十分であるとは言えない。大学院教育には「専門的な研究の振興と教育・研究者の育成」と「高度専門職の養成」という 2 つの目的があるが、現在わが国の理学療法分野における大学院のほとんどは研究センターであり、より高度な臨床知識や技術を習得し、高度専門職の育成を目的とする専門職大学院は未だ存在しないのが現状である。

一方、諸外国では理学療法分野における高度専門職の養成を目的とする大学院教育が盛んである。例えば、オーストラリアでは今から 30 年以上前の 1974 年に既に専門職大学院が開設されている。オーストラリアの大学院（修士課程）にはリサーチ・プログラムとコースワーク・プログラムがある。リサーチ・プログラムはわが国の大学院教育同様、指導教員のもとで学生が独自に研究を行い、修士論文の作成により学位を取得する。一方、コースワーク・プログラムは単位制をとっており、専攻した専門領域の講義や演習を受講し、課題や試験に合格することで学位を取得する。理学療法分野の大学院を擁する大学には、筋骨格系理学療法、神経系理学療法、呼吸循環系理学療法など主だった専門領域のコースワーク・プログラムが用意されているが、中でも筋骨格系理学療法のコースワークは世界中の理学療法士から高い評価を得ており、昨今では我が国の理学療法士も多数留学している。

次に、コースワーク・プログラムのカリキュラムの一例として、2010 年度の Melbourne 大学の筋骨格系コースワークを紹介する。就学期間はフルタイム学生で 1 年、パートタイム学生は 2 年であり、前期、後期の 2 学期制をとっている。学生は就学期間内に学位取得に必要な 8 科目を履修する。履修科目はアカデミック・ライティングや研究法などの共通科目が 3 科目（1. Academic Writing, Ethics & Critical Enquiry 2. Graduate Research Methods, 3. Motor Control, Performance & Exercise, 4. Pain and its Management 3, 4 はどちらか一科目を選択）と筋骨格系専門領域の必修科目が 5 科目（1. Sports & Musc Physiotherapy A, 2. Advanced Clinical Practice 2A, 3. Clinical Anatomy, 4. Sports & Musc Physiotherapy B, 5. Advanced Clinical Practice 2B）である。

コースワーク・プログラムの最大の特徴は、いずれの専門領域のカリキュラムにも長期の臨床実習が含まれていることである。学生は通常、週 2～3 回の頻度で病院やクリニックに赴き、そこで知識、経験ともに豊富なスーパーバイザーの指導のもと実際に患者の評価や治療を行う。臨床実習では単なる臨床技術の習得だけではなく、セラピストの臨床推論能力の向上が極めて重要視されている。

こうした専門職大学院に相当するコースワーク・プログラムは、オーストラリアだけで

なく、英国、ニュージーランド、アメリカ、カナダなど若干の教育形態の違いはあるにせよ既に多くの教育機関で行われており、理学療法士のレベルの向上や社会的地位の向上に大きく貢献している。また、アメリカやカナダの場合、理学療法士の養成教育は大学院教育でのみで行われているが、近年始まったアメリカの DPT (Doctor of Physical Therapy) プログラムやカナダの MPT (Master of Physical Therapy) プログラムも、いずれも大学院教育でありながら、臨床知識や技術の習得に重点を置く教育内容となっている。

近年我が国でも専門職大学院の設置が認められ、法科大学院や教職大学院など多くの専門職大学院が開設された。超高齢化社会を迎えた我が国において、理学療法士の社会的ニーズはさらに高まっている。医療や福祉など様々な現場でリーダーとして活躍できる人材を育成するためにも教育の果たす役割は大きい。こうした人材育成の場としても、高度専門職教育を行う専門職大学院の存在は不可欠である。専門職大学院においては、実践的な能力を有する質の高い教員の確保が必要であるが、我が国の大学院教育も開設から 15 年を経た今、優れた人材を輩出している。さらに、海外の優れた知識や技術を習得した理学療法士の数も増えている。こうした人材が育ちつつある今こそ、専門職大学院の開設に相応しい時期である。将来、わが国の理学療法分野における大学院教育をより一層充実させるためにも、専門職大学院が創設されることを願っている。

P. 20～P. 21

## 第2章 新時代の大学院教育の展開方策

### 1 大学院教育の実質化（教育の課程の組織的展開の強化）のための方策

#### （1）課程制大学院制度の趣旨に沿った教育の課程と研究指導の確立

##### ① コースワークの充実・強化

社会のニーズに対応した人材の養成を行うためには、学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修するコースワークを充実し、関連する分野の基礎的素養の涵養等を図っていくことが重要である。

特に、博士課程は、5年間を通じた体系的な教育の課程を編成し、コースワーク、論文作成指導、学位論文審査等の各段階が有機的なつながりを持って博士の学位授与へと導いていくといった教育のプロセス管理が重要となる。

これと関連して、各大学院においては、その人材養成目的や特色に応じてアドミッション・ポリシーを明確にし、それを適切に反映した入学者の選考上の工夫を行うことが重要である。

##### 【具体的取組】

- 大学院の課程の単位の考え方の明確化（大学院設置基準の改正）
- 修士課程及び博士課程（前期）の修了要件の見直し（大学院設置基準の改正）
- 豊かな学識を養うための複合的な履修取組（主専攻・副専攻制、ジョイントディグリー）の導入
- 博士課程の短期在学コースの創設の検討
- 国によるコースワーク充実のための情報提供等

グローバル化や科学技術の進展など社会の激しい変化に対応し得る人材の養成を行うためには、課程制大学院制度の趣旨に沿って大学院教育の組織的展開の強化を図ることが大切である。

このため、各大学院においては、専攻分野に関する高度の専門的知識・能力の修得に加え、学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修するコースワークを充実し、関連する分野の基礎的素養の涵養等を図っていくことが必要である。特に、博士課程においては、5年間を通じた体系的な教育課程を編成し、コースワーク、論文作成指導、学位論文審査等の各段階が有機的なつながりを持って博士の学位授与へと導いていくといった教育のプロセス管理が重要である。その際、将来の研究リーダーや国際社会など多様な場で活躍できる研究者の育成の観点からは、コースワークを通じて、例えば、研究企画書の作成等を含めた研究プロジェクトの企画・マネジメント能力や英語のプレゼンテーション能力の涵養などに努めていくことが重要である。

コースワークを充実するためには、大学院教育の特質に応じた単位制度の見直し

や、博士課程について5年間を通じた体系的な教育課程という観点からの修士論文の在り方、豊かな学識を養うための履修上の工夫などについて検討する必要がある。各大学院においては、例えば、前期はコースワークに重点を置いて後期は研究活動を中心とする、前期・後期を通じたコースワークを設定するなど、その人材養成目的や専攻分野の特性に応じた最も効果的なコースワークを行っていくことが重要である。また、分野によっては、大学間の連携・協力体制を強化するなどして、組織的にコースワークの充実を図っていく取組も有効である。

大学院教育の組織的展開の一環として、大学院への入学者の受入れと入学後の教育に有機的なつながりを持たせるよう努めることが求められる。このため、各大学院においては、それぞれの人材養成目的や特色に応じてアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を明確にし、公表するとともに、それを適切に反映した入学者受入れを行えるよう、選考の方法や時期等について工夫を行うことが必要である。

(中略)

P. 23

#### ○ 医療系大学院

##### <各分野共通の教育・研究指導の在り方>

医療系大学院における教育・研究指導には、これまで、ややもすると大学院学生が所属する各研究室の指導教員に教育を任せ切りにするという傾向も見られた。しかしながら、先に示したように大学院の目的と教育内容を明確にし、教育・研究指導を実効性あるものにするためには、専攻単位で組織的に教育活動を計画することが重要である。

また、専攻を単位とする組織的な教育活動が、動物実験や遺伝子実験、放射線の取扱いなど単に様々な診療上や研究上の規制に対応した知識・技術のみを修得させるのではなく、体系的な教育を提供するという課程制大学院の趣旨に沿ったふさわしいものとなるよう、関係者が努力していくことが強く求められる。

具体的には、幅広い視野と当該専門分野での専門的知識を修得させるため、例えば次のような、専攻を単位とする組織的な教育活動が効果的と考えられる。

- ・幅広い視野を身に付けるための関連領域に関する組織的な教育活動
- ・各専門分野に関する専門知識を身に付けるための体系的かつ組織的な教育活動
- ・自立的な研究者として必要な能力や技法を身に付けるための組織的な教育活動

このほか、単位の認定や最終試験による課程修了資格の認定において客観性を確保することや、学外や関連分野の教員等も交えた学位論文審査を実施することが適当である。

さらに、研究遂行上又は職業上必要な資格の取得や、関連学会における認定資格（専門医など）の取得のための講習や研修と、医学・歯学系大学院博士課程における教育とは、本来、趣旨・目的を異にするものであるが、専門分野の資格取得のための本人の負担等を考慮すると、大学院の教育課程の中に当該資格取得に必要な教育内容を取り込む工夫も適当と考えられる。

(中略)

P. 24～P. 25

④看護学系・医療技術系大学院について

看護学系・医療技術系分野の区分制博士課程（前期）にあつては、一専攻当たりの学生数が少ない場合などは、同一専攻の中で、博士課程（後期）修了後に教育研究職に就く者のための研究者養成プログラムと、前期課程修了後に専門職に就く者のための高度専門職業人養成プログラムを併せ持つなどの工夫が必要である。

この場合、看護学系・医療技術系分野は特に実践性が求められることから、いずれのプログラムにおいても、専門職業人としての一定の実務経験を経てから入学させることが望ましい。

研究者養成プログラムにおいては、研究者としての基本的研究手法を身に付けるために必要

(中略)

P. 25

<単位の考え方の明確化>

大学院の教育機能の実質化を図り多様な展開を促すために、学問分野の特性に応じ、例えば、研究者として必要な研究技法や研究能力を身に付けるためのフィールドワークや文献調査を定期的に行わせるような場合、講義と実習といった複数の授業の方法を組み合わせた授業科目を導入することも重要である。そのような取扱いが容易にできるよう、設置基準における単位の計算方法について明確化することが適当である。また、我が国の単位制度（45時間の学修をもって1単位とすることを基本とする制度）の趣旨に沿って十分な学習量が確保されるよう、その実質化に向けた各大学院の努力が求められる。

公益社団法人日本理学療法士協会及び  
一般社団法人日本作業療法士協会の教育研修制度

## 理学療法士 生涯教育 制度

(公益社団法人日本理学療法士協会ホームページより)

### 新人教育プログラム

協会入会后、最短1年間のうちに指定された15単位(平成24年度以降入会で、大学・高度専門士養成校出身者は13単位)を取得します。

研修会の実施は各都道府県理学療法士会が行います。

新人教育プログラムの単位を全て履修し、マイページより修了申請をすると、「新人教育プログラム修了証」が発行されます。修了日以降、認定・専門理学療法士申請に必要な生涯学習ポイントを取得できるようになります。新人教育プログラムが修了すると、専門分野の登録を行うことで、認定・専門理学療法士制度へ移行します。

### 認定・専門理学療法士制度

新人教育プログラム修了者を対象に、自らの専門性を高め、良質なサービスを提供する臨床能力を備え、理学療法の学問的発展に寄与する研究能力を高めていくことを目的としています。

新人教育プログラム修了者は7分野(基礎理学療法、神経理学療法、運動器理学療法、内部障害理学療法、生活環境支援理学療法、物理療法、教育・管理理学療法)のいずれかひとつ以上の分野に登録し、認定理学療法士、専門理学療法士を目指します。

新人教育プログラム修了者を対象に、自らの専門性を高め、良質なサービスを提供する臨床能力を備え、理学療法の学問的発展に寄与する研究能力を高めていくことを目的としています。新人教育プログラム修了者は7専門分野(基礎理学療法、神経理学療法、運動器理学療法、内部障害理学療法、生活環境支援理学療法、物理療法、教育・管理理学療法)のいずれかひとつ以上の専門分野に登録し、認定理学療法士・専門理学療法士を目指します。

# 大学院における専門作業療法士制度研修実践の履修の方法について

(一般社団法人日本作業療法士協会ホームページより)

大学院で専門分野の研修実践の研修項目の履修を考える場合は次の手順で行います。

## 1. 履修方法の種類

履修方法としては、以下の2つの方法があります。目指す専門分野や地域などを会員個人が判断し、履修方法を選択します。

### 1) 大学院への入学

- 大学院に入学し、大学院修了に必要な単位あるいは選択科目として専門分野の研修項目に該当する授業科目を履修し、単位を修得する方法です。
- 各々の大学院で連携している科目によっては、専門分野の研修カリキュラムの全てを修了することが可能(一部の場合もあります)です。
- 専門分野に関わる学位論文の提出により大学院を修了することで、専門分野の研修カリキュラムの「専門研究・開発」を修了することができます。
- 専門分野の研修カリキュラムに該当する科目の履修を証明するために、以下の書類等が必要になります。

→成績証明書(単位修得証明書)、学位記(修士・博士)

### 2) 科目履修

- 大学院に科目等履修生として入学し、専門分野の研修項目に該当する授業科目を履修し、単位を修得する方法です。
- 専門分野の研修カリキュラムを部分的に修了することが可能です。
- 専門分野の研修カリキュラムに該当する科目の履修を証明するために、以下の書類が必要になります。

→成績証明書(単位修得証明書)

## 2. 大学院での研修実践の研修項目履修の手順

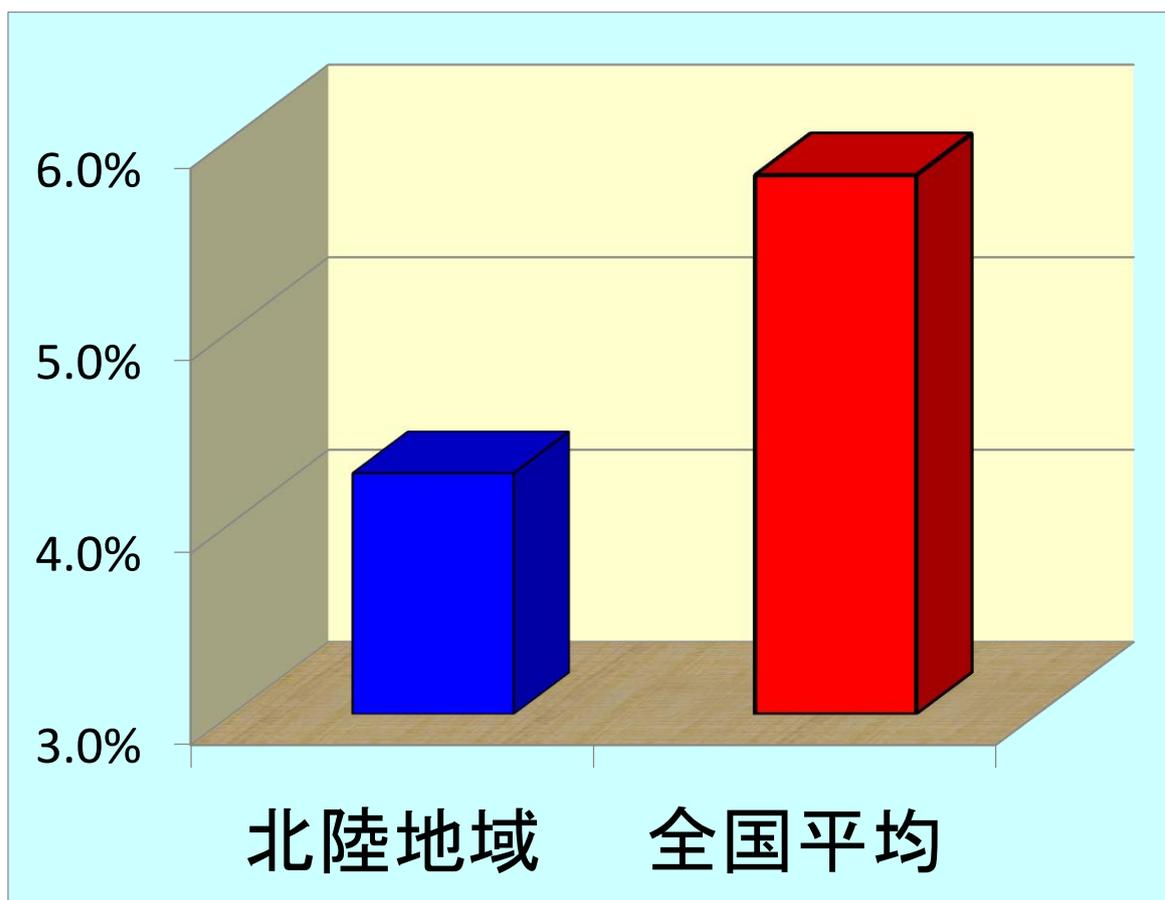
- 協会ホームページ等の専門作業療法士制度連携大学院一覧を確認し、修得しようとする専門分野の科目をどの大学院で取得するかを決めます。
- 入学あるいは科目履修の手続きについて、各大学院へ詳細を問い合わせ、必要な手続きを行います。
- 単位を修得あるいは学位(修士・博士)を取得し、これらを証明するための必要書類等を保管すると同時に、手帳および申請書類等への備忘を行います。
- 専門作業療法士申請の際に、必要書類を提出します。

## リハビリテーション関連大学院設置状況

資料7

No.	地域・大学名	研究科名	専攻等名	修士	修士定員	博士	博士定員	都道府県
北海道地域								
1	北海道大学	保健科学院	保健科学専攻	○	26	○	8	北海道
2	札幌医科大学	保健医療学研究科	理学療法学・作業療法学専攻	○	12	○	6	北海道
3	北海道医療大学	リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻	○	10	-	-	北海道
東北地域								
1	弘前大学	保健学研究科	総合リハビリテーション科学領域	○	25	○	9	青森県
2	青森県立保健大学	健康科学研究科	健康科学専攻	○	20	○	4	青森県
3	秋田大学	医学系研究科	保健学専攻	○	12	○	3	秋田県
4	東北文化学園大学	健康社会システム研究科	健康福祉専攻	○	10	○	2	宮城県
5	山形県立保健医療大学	保健医療学研究科	保健医療学専攻	○	12	-	-	山形県
関東・甲信越地域								
1	筑波技術大学	技術科学研究科	保健科学専攻	○	3	-	-	茨城県
2	茨城県立医療大学	保健医療科学研究科	理学療法学・作業療法学専攻(修士)、保健医療科学専攻(博士)	○	6	○	5	茨城県
3	国際医療福祉大学	医療福祉学研究科	保健医療学専攻	○	100	○	50	栃木県
4	群馬大学	保健学研究科	保健学専攻	○	50	○	10	群馬県
5	群馬パース大学	保健科学研究科	保健科学専攻・基礎保健科学領域	○	6	-	-	群馬県
6	埼玉県立大学	保健医療福祉学研究科	保健医療福祉学専攻	○	20	-	-	埼玉県
7	埼玉医科大学	医学研究科	医科学専攻(修士)、生物・医学研究系専攻(博士)	○	8	○	10	埼玉県
8	文京学院大学	保健医療科学研究科	保健医療科学専攻	○	20	-	-	埼玉県
9	目白大学	リハビリテーション学研究科	リハビリテーション学専攻	○	15	-	-	埼玉県
10	首都大学東京	人間健康科学研究科	理学療法科・作業療法科学域	○	50	○	22	東京都
11	帝京平成大学	健康科学研究科	理学療法学・作業療法学専攻	○	0	-	-	東京都
12	帝京平成大学	健康科学研究科	理学療法学専攻・作業療法学専攻	○	8	○	3	東京都
13	神奈川県立保健福祉大学	保健福祉学研究科	保健福祉学専攻	○	20	-	-	神奈川県
14	北里大学	医療系研究科	医科学専攻(修士)、医学専攻(博士)	○	40	○	40	神奈川県
15	国際医療福祉大学	医療福祉学研究科	保健医療学専攻	○	100	○	50	神奈川県
16	昭和大学	保健医療学研究科	保健医療学専攻	○	10	○	4	神奈川県
17	信州大学	医学系研究科	保健学専攻	○	14	○	4	長野県
18	新潟医療福祉大学	医療福祉学研究科	保健学専攻(修士)、医療福祉学専攻(博士)	○	20	○	3	新潟県
19	新潟リハビリテーション大学	リハビリテーション研究科	リハビリテーション医療学専攻	○	12	-	-	新潟県
東海地域								
1	聖隷クリストファー大学	リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻	○	10	○	5	静岡県
2	名古屋大学	医学系研究科	リハビリテーション療法学専攻	○	10	○	4	愛知県
3	星城大学	健康支援額研究科	健康支援学専攻	○	12	-	-	愛知県
4	藤田保健衛生大学	保健学研究科	保健学専攻	○	30	-	-	愛知県
5	豊橋創造大学	健康科学研究科	健康科学専攻	○	6	-	-	愛知県
6	中部大学	生命健康科学研究科	リハビリテーション学専攻	○	6	-	-	愛知県
7	鈴鹿医療科学大学	医療科学研究科	医療科学専攻	○	30	○	5	三重県
北陸地域								
1	金沢大学	医薬保健学総合研究科	保健学専攻	○	20	○	20	石川県
近畿地域								
1	京都大学	医学研究科	人間健康科学系専攻	○	49	○	15	京都府
2	大阪府立大学	総合リハビリテーション学研究科	総合リハビリテーション学専攻	○	15	○	5	大阪府
3	大阪電気通信大学	医療福祉工学研究科	医療福祉工学専攻	○	10	○	5	大阪府
4	関西医療大学	保健医療学研究科	保健医療学専攻	○	9	-	-	大阪府
5	大阪保健医療大学	保健医療学研究科	保健医療学専攻	○	8	-	-	大阪府
6	神戸大学	保健学研究科	リハビリテーション科学領域	○	56	○	25	兵庫県
7	神戸学院大学	総合リハビリテーション学研究科	医療リハビリテーション学専攻	○	6	○	3	兵庫県
8	兵庫医療大学	医療科学研究科	リハビリテーション科学領域	○	8	-	-	兵庫県
9	畿央大学	健康科学研究科	健康科学専攻	○	20	○	5	奈良県
中国・四国地域								
1	川崎医療福祉大学	医療技術学研究科	リハビリテーション学専攻	○	6	○	2	岡山県
2	吉備国際大学	保健科学研究科	保健科学専攻	○	6	○	3	岡山県
3	広島大学	医歯薬保健学研究科	保健学専攻	○	64	○	22	広島県
4	県立広島大学	総合学術研究科	保健福祉学専攻	○	25	-	-	広島県
5	広島国際大学	医療・福祉科学研究科	医療工学専攻	○	10	○	2	広島県
九州・沖縄地域								
1	国際医療福祉大学	医療福祉学研究科	保健医療学専攻	○	100	○	50	福岡県
2	西九州大学	健康福祉学研究科	リハビリテーション学専攻	○	3	-	-	佐賀県
3	長崎大学	医歯薬学総合研究科	保健学専攻(修士)、医療科学専攻(博士)	○	20	○	62	長崎県
4	熊本保健科学大学	保健科学研究科	保健科学専攻	○	10	-	-	熊本県
5	鹿児島大学	保健学研究科	理学療法・作業療法学領域	○	22	○	6	鹿児島県

平成 25 年度理学療法士・作業療法士養成課程入学定員とリハビリテーション関連大学院入学定員の比率



平成 25 年度理学療法士・作業療法士養成課程入学定員と、リハビリテーション関連大学院入学定員の比率

## 北陸地域における理学療法士・作業療法士養成状況

## 【理学療法士養成校】

種 別	名 称	所 在 地	入学定員
大 学	金城大学 医療健康学部理学療法学科	石川県白山市	65 人
大 学	金沢大学 医薬保健学域保健学類理学療法専攻	石川県金沢市	20 人
短期大学	福井医療短期大学 リハビリテーション学科理学療法専攻	福井県福井市	50 人
専門学校	専門学校金沢リハビリテーションアカデミー 理学療法学科	石川県金沢市	35 人
専門学校	国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科	石川県七尾市	35 人
専門学校	富山医療福祉専門学校 理学療法学科	富山県滑川市	30 人
専門学校	若狭医療福祉専門学校 理学療法科	福井県三方郡 美浜町	40 人
入学定員計			275 人

## 【作業療法士養成校】

種 別	名 称	所 在 地	入学定員
大 学	金城大学 医療健康学部作業療法学科	石川県白山市	35 人
大 学	金沢大学 医薬保健学域保健学類作業療法専攻	石川県金沢市	20 人
短期大学	福井医療短期大学リハビリテーション学科 作業療法専攻	福井県福井市	40 人
専門学校	専門学校金沢リハビリテーションアカデミー 作業療法学科	石川県金沢市	35 人
専門学校	国際医療福祉専門学校七尾校 作業療法学科	石川県七尾市	35 人
専門学校	富山医療福祉専門学校 作業療法学科	富山県滑川市	30 人
入学定員計			195 人